



闇の世界へ降臨されたキリスト



マタイ・ルカ・マルコの三福音書は、人となられたイエス・キリストを下から人間世界から現世から永遠を目指して書かれています。他方、「ヨハネ福音書」は、人の子となられたイエス・キリストを天から地上を見て、永遠の神の世界から現世を見て記述されています。

復活されたキリストを、トマスは信じませんでした。復活のキリストは、トマスに対して手の釘のあとに指を入れさせ、わき腹に手を入れさせられました。その時、トマスは「わたしの主、わたしの神よ」と、復活のキリストを認めました。しかし、これは「信じた事」にはならなかったのです。見たから認知したに過ぎません。信仰ではありません。見ないで信じるのが愛であり、信仰です。

ヨハネ福音書1章5節で、キリストはこの人間世界へ、「光」として、救いとして来られたことが記されています。しかし、この世界、人間世界は「光」を理解しなかった、とあります。それは、人間が暗闇にあまりに慣れすぎていて、「真実の光」を見ても

「光」と認識できないのです。そのほど、人間は暗黒の中に慣れ親しんでいるのです。

光のない「深海」の中に生きる深海魚は光のない世界、その生活に慣れ親しんで、光を感知する「目」が退化して光を感じない不孝な状態の中にいるといわれます。人間が深海魚にならないために、神はどのような人間も神様を認知できるように、見える神として、「人の子」としてイエス・キリストをこの世界に贈ってくださったのでした。クリスマスは、見える神としてのキリストを感謝して心にお迎えする時です。

「イエスは、ヘロデ王の時代にユダヤのベツレヘムでお生まれになった」
マタイ福音書2章1節

「言は肉となって、わたしたちの間に宿られた」
ヨハネ福音書1章14節

盛岡仙北町教会 牧師 角谷晋次

盛岡YMCAの使命

私たち、盛岡YMCAは、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、子ども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. 子どもたちの個性を大切にし、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。



盛岡YMCAでは11月23日(土・祝)に、パルクアベニューカワトク前、安全十字路(北日本銀行大通支店前)、MOSSビル前、盛岡駅前滝の広場の4か所で国際協力街頭募金を実施いたしました。

当日は、YMCAに集う子どもたちや大学生ボランティアリーダー、職員、計37名が参加し、市民の方々に募金への呼びかけを行い、沢山の方に募金へのご協力をいただきました。今回の街頭募金活動で集まった募金額は152,674円となりました。私たちの呼びかけに足を止めてくださった方々をはじめ、この度の国際協力街頭募金活動に携わっていただいた方々に心より感謝を申し上げます。

そして、12月22日(日)には2回目の街頭募金活動を実施いたします。活動場所は11月23日と同様となり、活動時間は11



時~12時30分、12時30分~14時の2回にわけて行います。22日の街頭募金活動にご協力いただける方は、担当の東森までご連絡ください。空いている時間に寄っていただき可能な時間のみ一緒に呼びかけをおこなう事も可能です。ご協力のほど、何卒よろしくお願いたします。

今回と12月22日に寄せられた募金は、日本YMCA同盟を通じて、パレスチナ支援、ウクライナ避難者支援等に充てさせていただきます。そして2024年度の盛岡YMCAの国際協力募金活動は2月28日まで募金の受入をおこなっております。今後とも国際協力募金へのご理解とご協力をいただけます様、どうぞよろしくお願致します。

盛岡YMCA国際協力担当 東森聡



こんにちは!もーりーです!!11月9日(土)に、盛岡市総合プールで開催したサポートプログラム11月イベント「リーダーと一緒に遊ぼう!」の報告をさせていただきます。

今回は5家族7人の子どもたちが参加してくれました。受付を済ませ研修室に入ると、バディのリーダー(※)と合流!、参加リーダーの顔写真やタイムスケジュールが載ったラミネートを見ながら、初めましての挨拶をしていました。なかには大きな赤いエビの浮き輪や、可愛らしいピンクの浮き輪を持参して、わくわくしながらやって来る子どもたちもいました。

初めにみんなで「50-50動いて当てろ究極の2択クイズ!!」をしました。“楽しみなのはクリスマスとお正月どっち??”“身体が柔らかいリーダーはどっち??”などのクイズに答えながらみんなで身体を動かしました。その後はプールと室内でそれぞれ好きなことをして遊びました。

プールではビート板とヘルパーを組み合わせでイカダを作ったり、〇〇号出発!と船のように浮き輪に乗って遊んだりしました。思い切り泳ぐバディもいれば、水の掛け合いっこをするバディもいてそれぞれ自由な時間を過ごしていました。室内では新聞紙で作った輪っかでフリスビーをしたり、トランプをしたりしました。最後には保護者の方々も一

緒にみんなで大富豪をしてとても楽しく過ごしました。

それぞれが好きなことをしてリーダーと一緒に遊びながらも、みんなで笑い合う場面も見られたとても暖かい活動となりました。

※盛岡YMCAサポートプログラムでは、急な変更に不安を抱える子や、困り事を発信するのが苦手な子どもたちが、安心してプログラムに参加することができるよう、ボランティアリーダーが、子どもと1対1になり、活動中のサポートをしています。1対1の関係となる子どもとリーダーを【バディ】と呼んでいます。

岩手県立大学3年
守みちか(もーりーリーダー)



野外活動『秋の味覚を満喫だ!きのこ狩りに出かけよう!』



盛岡YMCAボランティアリーダーのピエールです。今回、初めて野外活動に参加し、「秋の味覚を満喫だ!きのこ狩りに出かけよう!」をテーマに、子どもたちと充実した一日を過ごしました。

行きのバスでは、全員で協力しながら「マリオと一緒にクッパを倒すゲーム」に挑戦。アイテムやポーズ、掛け声を考える中で自然とチームの一体感が生まれました。また、きのこクイズを通じてきのこへの関心が深まり、楽しく学ぶ機会となりました。

活動場所の「まほら岩手」では、職員の方から説明を受けた後、グループごとにきのこ狩りを楽しみました。子どもたちは「こんなに大きなきのこが採れた!」と嬉しそうに見せてくれたり、袋の中に効率よく入れる方法を真剣に考えたりと、それぞれの個性が輝いていました。中には、自分が採ったきのこを友達に分ける子もいて、助け合いの姿が印象的でした。

フリータイムでもグループ同士での交流が生まれ、リーダーを含めた全員が笑顔で活動を楽しんでいる様子が見られました。特に、高学年の子どもたちが率先してブルーシートを敷いたり、低学年に積極的に声をかけたりする姿が頼もしく、こうした経験が低学年の良い刺激になればと感じました。

帰りのバスでは、他のグループと混ざりながらゲームを楽しみ、あっという間に目的地に到着。子どもたちが充実感や達成感に満ちた表情をしているのがとても印象的でした。この経験をぜひ家族と共有し、楽しさや学びを振り返ってほしいと思います。私自身も、今後さらに積極的に野外活動に参加していきたいと感じた一日でした。

岩手大学1年
根本隼輔 (ピエールリーダー)



秋のサッカー大会が開催されました!



こんにちは!秋が終わりに近づき、今年の冬は何色の服を着ようかな?と今からわくわくしています!みんごです。11月4日(月)紅葉と焼き芋屋さんが並ぶ秋晴れの中、岩手県営運動公園にて、子ども58名、リーダー15名で秋のサッカー大会を開催しました。

沢山の保護者の方々にも参加していただき、ありがとうございました。子どもたちもものびのびと思いきり体を動かし、サッカーを楽しんでいました。私が担当した幼児コートでは、みんなで楽しく!を軸に子どもたちとサッカーを行いました。

サッカーの試合では、どこのコートよりも元気で大きな挨拶から始まり、試合中もゴールに向かって一生懸命に走り、ボールを追いかける姿が1日中見られました。自分たち



の試合がお休みの時は、観覧席から「がんばれ」と応援する姿もありました。また、試合の合間には、みんなでなりきりごっこをして走り回り、チームの垣根を越えて遊ぶ子どもたちの楽しそうな笑顔をみることができました。

幼児さんに限らず、今回の秋のサッカー大会はいつも以上に子どもたち同士のコミュニケーションが見られ、新しい出会い・互いを知る機会を沢山見ることができました。また、多くの保護者の方々に参加していただき、より一層サッカー大会を盛り上げることができました。今後も子どもたちと思いきり体を動かしながら、子どもたちに負けないうらい元気いっぱい活動していきます!

岩手大学3年 杉山希 (みんごリーダー)

サンデースクール『ドキドキ♡ケーキ職人』



11月17日(日)仙北地区活動センターにて、子ども27名とリーダー12名で、11月サンデースクール「ドキドキ♡ケーキ職人」を実施しました！2年ぶりの料理をテーマとしたサンデースクールということもあり、子どもたちは到着から既にワクワクが抑えられない様子で、机の上の調理器具やレシピ、材料に興味津々でした。

まず調理を始める前に、フライパンの持ち方や身だしなみなどのキケンな箇所を、2択クイズで、みんなで確認しました。

次にパンケーキ作りとデコレーションの2段階に分けて調理を行いました。パンケーキ作りは、子どもたちが卵を割って米粉と牛乳を測り取り、他の材料も一緒に混ぜて生地を作りました。その後、1人2枚ずつパンケーキを焼きました。子どもたちは生地を流し入れてひっくり返す作業を行い、ひっくり返してきつね色になったパンケーキに目を輝かせていました。また、他の子が焼いている間に、出来る洗いを自分からしてくれる子がいて感動しました。

デコレーションは、ホイップクリーム、バナナ、みかん、アポロ、そしてコ

アラのマーチを、グループの子たちとシェアして思い思いのデコレーションをしました。ホイップクリームを大量に使う子、綺麗に絞り出す子、パンケーキを重ねる子など、それぞれの個性が見えて面白かったです。出来上がったときの子どもたちの満足気な顔がとても印象深かったです。

今回のサンデースクールを通して、子どもたちに料理の面白さを知ってもらえたのではないかなと思います。今回の良かった点・改善点を次の料理サンデースクールに活かし、料理サンデースクールをより楽しいものにしていきたいです！

岩手大学2年 藪崎桃子 (ピースリーダー)



盛岡YMCAリーダー紹介②5



こんにちは！毎日チョコを食べているチャーリーです！私は岩手県立大学の短期大学部で、服飾を学んでいます。就職活動が終わり、来年からはアパレルの販売員として働く予定です。私は、“子どもが好き”というきっかけでYMCAに入りました。小学生と高校生の時は、水泳をしていたこともあり、金曜水泳がYMCAの初めて行った活動でした。水泳のレッスンも、もちろん楽しいですが、送迎バスの中での、子どもたちのおしゃべりがとても好きな時間です。2年生になってからは、グループのメインリーダーとしてレッスンを行っています。悩む時もありますが、入ったばかりの時と、現在とで、子どもたちが大きく成長していることに改めて感動しました。



1年生の前期はYMCAの活動は水泳のみでしたが、リーダーの仲間に誘われたりして、野外、サンデー、スキーや夏のキャンプなどに参加しました。新しいことに挑戦することは、楽しみである反面、不安もありました。しかし、そこで初めて出会った価値観や考え方を子どもたちやリーダー、スタッフの皆さんからも沢山学びました。この2年、多くの人たちと関わり、自分は年齢問わず、“人が好き”なんだと気づきました。YMCAでは、とても個性が輝くと思っています。その一人一人の個性を尊重して、残りの活動を全力で楽しみたいです。また、このYMCAでの経験を活かして、社会に出てからも人との出会いを大切にしていきたいです。

岩手県立大学2年 長谷川 心奏 (チャーリーリーダー)

2024年度 10月新規会員 敬称略
2024年度 維持会員 杉田弘美・未来の保護者、一戸佐由利

最新情報はこちらでチェックできます！
「盛岡YMCA」で検索ください。



ホームページ



facebook



instagram

1・2月活動案内



1月

サッカー	木曜	1/23、30
	金曜	1/24、31
	幼児	1/18、25
	土曜小学生	

水泳	月曜	1/6、20、27
	水曜	1/22、29
	木曜	1/23、30
	金曜	1/24、31

体育教室	第一	1/18、25
	第二	

英会話教室	水曜	1/22、29
	金曜	1/24、31

習字教室	1/14、21、28
------	------------

ダイナミックスキーキャンプ	1/11～13
---------------	---------

ちきゅうと、あそぼう	1/23
------------	------

2月

サッカー	木曜	2/6、13、20
	金曜	2/7、14、21
	幼児	2/1、8、15
	土曜小学生	

水泳	月曜	2/3、10、17
	水曜	2/5、12、19、26
	木曜	2/6、13、20、27
	金曜	2/7、14、21、28

体育教室	第一	2/1、8、15、22
	第二	

英会話教室	水曜	2/5、12、19
	金曜	2/7、14、21

習字教室	2/4、11、18、25
------	--------------

ちきゅうと、あそぼう	2/23
------------	------

サンデースクール	2/9
----------	-----

日帰りスキー教室	2/2、2/16
----------	----------

表紙の写真から



数年前のキッズクリスマス(盛岡YMCAメンバー向けのクリスマス会)の1コマ。ろうそくの小さな灯りを見て、目を輝かせる子どもたち。今年も子どもたち一人ひとりに神の恵みがありますように。そして、世界の人々が少しでも安息の中で暮らすことができますように。